

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学 地方創生研究所	代表者名	斎藤大二郎
担当者部署	経済学部	連絡先電話番号	0278-32-7869
担当者役職		担当者氏名	
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久町200番地		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課
担当者氏名		連絡先電話番号	0276-47-1892
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研究会に加え、一般企業向けの公開講座の講師をしていただきました。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月21日	13時30分	18時00分	30	240
3-2. 派遣場所	会場名	関東学園大学		最寄駅	細谷駅
	所在地	群馬県太田市藤阿久町200番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩5分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体・地域金融機関・商工会議所・JA等	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体が明確な今後の方向性を示していない中で、中小企業支援に関わる企業・団体がどのような連携を見出していくのか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	変化していくことの必要性は理解したので、「具体的な1歩」をどうしていくか。その1歩から次にどのようにつなげていくのかを関係者で同一の認識を持っていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「シェアリングエコノミー」に関する最新情報および地域活性化に向けた考え方	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	「新たな取り組み」を試行し、関係者が随時情報共有していくことを確認した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	太田市の将来像、目指す方向性を定める必要があり、引き続きの検討事項となった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 公開講座アンケートPDFを別途添付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

